

YAMAHA

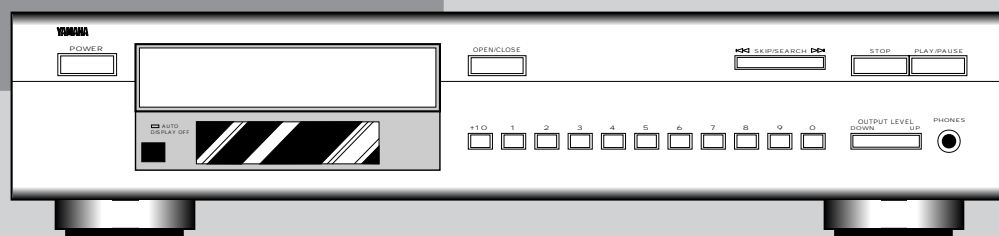
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

CDX-580

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書

ご使用にお前に必ずお読みください。



このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤー - CDX-580をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CDX-580の優れた性能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みくださいますよう、お願いいたします。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

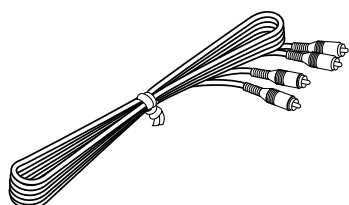
特 長

ヤマハオリジナルDAC使用による高音質設計
オートディスプレイオフ機能による音質の向上
シンクロ機能により、デッキとの同期録音が可能

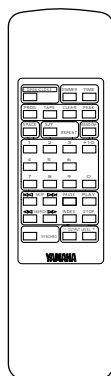
テープ録音時の録音レベル設定に便利なピークサーチ機能
テープ録音に便利なテーププログラム機能

ご使用の前に

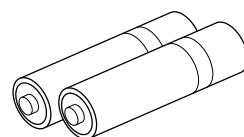
付属品を確認してください



出力コード（ピンプラグコード）



リモコンユニット



単3乾電池 (SUM-3) 2本

目 次

使用上のご注意	3
各部の名称とはたらき	4
接続のしかた	6
基本的な演奏	7
曲を順不同に聞く（ランダム演奏）	10
繰り返し演奏する（リピート演奏）	10
好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム演奏）	11
インデックス番号を指定して聞きたい	
ところを演奏する（インデックスサーチ）	12
設定した時間に演奏を開始する（タイマー演奏）	13

本機のプログラム機能を使ってテープ録音する（テーププログラム）	14
本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる（シンクロ録音）	17
ディスクの取り扱い	18
リモコンについて	18
故障かなと思ったら	19
参考仕様	19
ヤマハホットラインサービスネットワーク	20

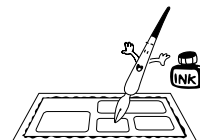


これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を開けたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

保証書の手続きを



お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスが必要な場合に実費をいただくことがありますので、十分ご注意ください。

使用上のご注意

電源

国内のみでご使用ください。

家庭用電源コンセント（AC100V）に接続してください。

上記以外の使用は動作不良や故障の原因になります。

電源コード

電源コードをひっぱらないでください。（プラグを持って抜いてください）

電源コードの上に重い物をのせないでください。

電源コードが断線したり、感電の原因になります。

本体

キャビネットは開けないでください。

本体内に金属類（針・硬貨など）を落とさないでください。本体内に液体（水・アルコールなど）をこぼさないでください。

本体内にもえやすい物（紙・布など）を落とさないでください。

火災・感電・故障の原因になります。

設置場所

不安定な台の上や、傾いた所には置かないでください。

落ちたり倒れたりすると危険です。

湿気の多い所、ほこりの多い所、直射日光の当たる所、熱の発生するアンプの上など温度の高い所、極端に寒い所には置かないでください。

動作不良や故障の原因になります。

雑音

本機を再生中にチューナから雑音がでたり、テレビの画面が乱れたりすることがあります。そのようなときは、それらの機器と本機の距離を離すか、チューナやテレビのアンテナを専用の屋外アンテナに変えてください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源スイッチを切ってください。

結露

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置してある部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。露がついたままでは信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1～2時間そのままに放置してからご使用ください。結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

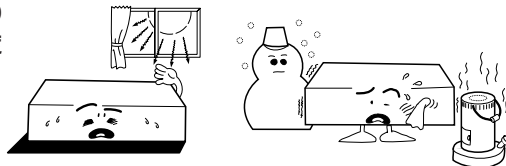
長期間使用しないときは

旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

不慮の事故で火災の原因になります。

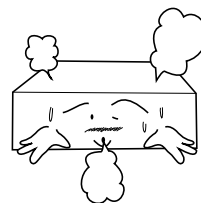
高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなど極端に暑い場所（周囲温度40以上）、温度の特に低い場所（周囲温度-5以下）は、さけてください。



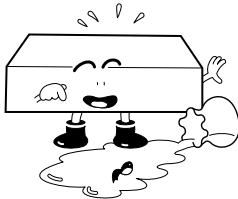
セットの放熱を妨げない

放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には放置しないでください。



ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

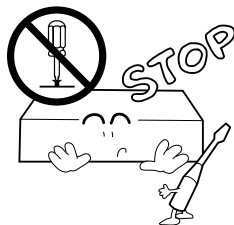


薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。

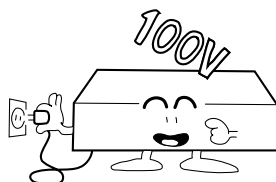


開けないで！

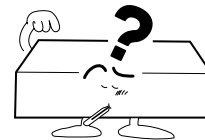


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント AC100V



こわれた？

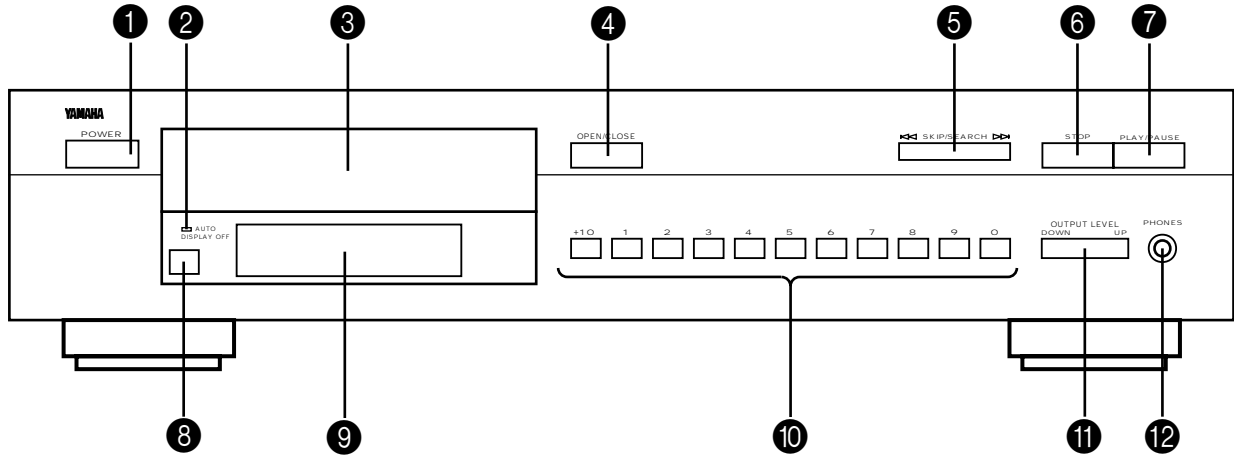


P. 19の「故障かなと思ったら」をご覧ください。

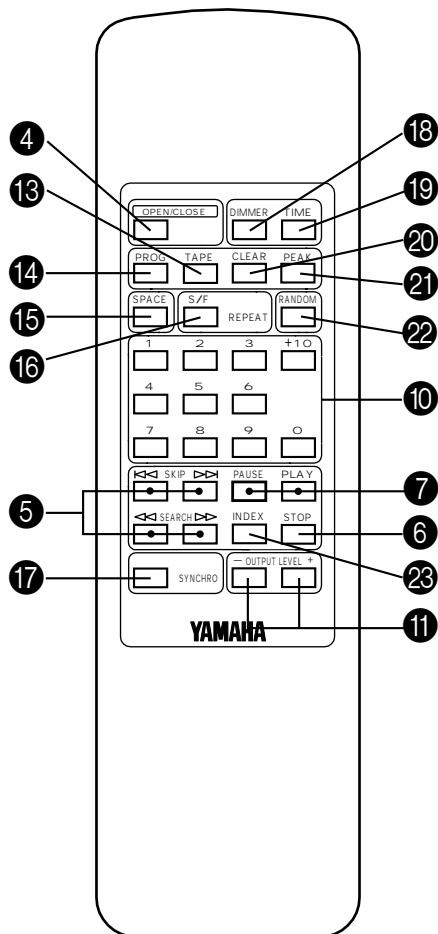
あなたが録音したテープは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断での使用は禁止されています。

各部の名称とはたらき

フロントパネル



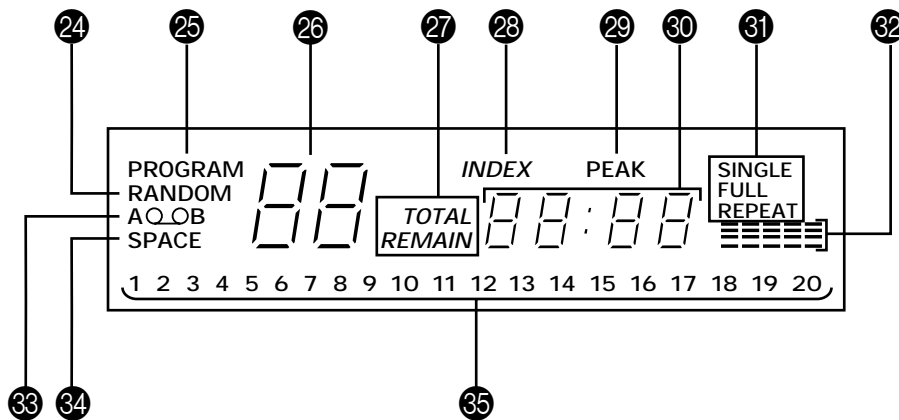
リモコン



- ① POWER
押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。
- ② AUTO DISPLAY OFF インジケーター
この部分は P. 9 を参照してください。
- ③ ディスクトレイ
ディスクをセットするところです。[OPEN/CLOSE] を押すと開き、もう1度押すと閉じます。
ディスクトレイは手で軽く押しても、[PLAY/PAUSE] や [RANDOM] または数字キーを押しても閉じることができます。
- ④ OPEN/CLOSE
トレイを開閉するとき押します。
- ⑤ SKIP/SEARCH
押すごとに曲の頭出しができ (SKIP)、押し続けると早送り、早戻し (SEARCH) ができます。
プログラムのチェックなどにも使います。
また、リモコンでは [SKIP] と [SEARCH] の2つに独立しています。
- ⑥ STOP
演奏を止めるとき押します。
- ⑦ PLAY/PAUSE
演奏をスタート/一時停止 (ポーズ) させるキーです。停止状態のときにキーを押すと演奏がスタートし、演奏中に押すと一時停止 (ポーズ) になり、もう1度押すと演奏がスタートします。
また、リモコンでは [PLAY] と [PAUSE] の2つに独立しています。
- ⑧ リモコン受光部
付属のリモコンからの信号を受ける窓です。
- ⑨ ディスプレイ
この部分は P. 5 を参照してください。
- ⑩ 数字キー (+10, 1~0)
選曲やプログラムのセット時に曲番を指定するキーです。
- ⑪ OUTPUT LEVEL
UP を押すと本機背面の LINE OUT 端子からの音声出力レベルとヘッドホンからの音量が大きくなり、DOWN を押すと小さくなります。
リモコンでは UP のかわりに +、DOWN のかわりに - となっています。
- ⑫ PHONES
ヘッドホンを接続する端子です。

- ⑬ TAPE
テーププログラムの設定のときに使います。
- ⑭ PROG
プログラムの設定や確認などに使います。
- ⑮ SPACE
曲間に4秒間のスペースを入れます。
- ⑯ REPEAT
押すごとにシングルリピート演奏、フルリピート演奏、通常演奏と切り替わります。
- ⑰ SYNCHRO
カセットデッキと同期録音するときに使います。
- ⑱ DIMMER
押すごとにディスプレイの明るさを切り替えます。
- ⑲ TIME
押すごとに時間表示を切り替えます。
“表示なし”：現在演奏中の曲の経過時間
REMAIN：現在演奏中の曲の残り時間
TOTAL：ディスクの総演奏時間
TOTAL REMAIN：ディスクの演奏残り時間
- ⑳ CLEAR
プログラムを解除するときに押します。
- ㉑ PEAK
ディスク内の最大音量箇所をさがすときに使います。
- ㉒ RANDOM
押すと順不同に曲を演奏します。
- ㉓ INDEX
インデックスサーチのとき押します。

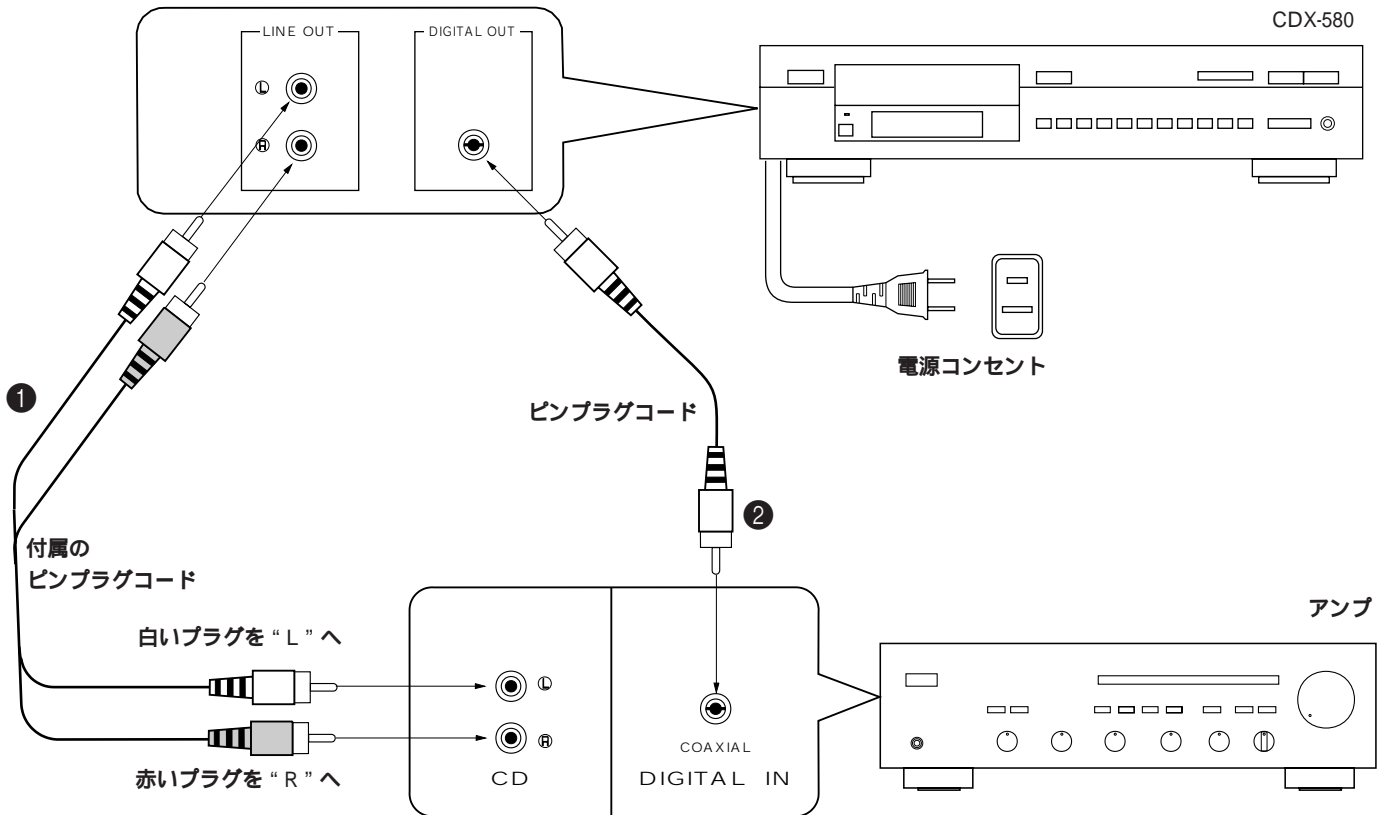
ディスプレイ



- ⑳ RANDOM インジケータ
ランダム演奏中に点灯します。
- ㉑ PROGRAM インジケータ
プログラムの設定時やプログラム演奏中に点灯します。
- ㉒ トラック (曲番) インジケータ
演奏時やプログラム設定時に曲番を表示します。
ディスクをセットして [OPEN/CLOSE] でディスクトレイを閉じると、数秒間そのディスクに収録されている総曲数を表示します。
- ㉓ TOTAL/REMAIN インジケータ
[TIME] を押すごとに時間表示の内容が変わります。
- ㉔ INDEX インジケータ
[INDEX] を押すと点灯します。
- ㉕ PEAK インジケータ
[PEAK] を押すと点灯します。
- ㉖ タイムインジケータ
演奏時間を表示します。
- ㉗ SINGLE REPEAT/FULL REPEAT インジケータ
リピート演奏の種類が “SINGLE” シングルリピートか “FULL” フルリピートかを表示します。
- ㉘ アウトプットレベルインジケータ
LINE OUT 端子からの音声出力レベルの大きさ、さらにヘッドホンレベルの大きさを表示します。
- ㉙ テープインジケータ
テーププログラムを使って録音するときにこのインジケータを点灯させます。
- ㉚ SPACE インジケータ
曲間に4秒間のスペースを入れるとき点灯します。
- ㉛ ミュージックカレンダー
ディスクに収録されている曲番が点灯表示します。

接続のしかた

接続をはじめる前に必ず、各機器の電源を切ってください。
接続するアンプによっては、端子名が異なるものがあります。
接続するアンプの取扱説明書も参照してください。



■ 出力端子について

本機はアナログ (LINE OUT)、デジタル (DIGITAL OUT) の2系統の出力端子を装備しています。接続する機器に合わせて、使用する接続端子をお選びください。

アナログ出力端子 (①)

本端子は、付属のピンプラグコードを使ってアンプのCD (アナログ) 端子に接続します。

接続は、右チャンネル (R)、左チャンネル (L) を確認したのち、正しく接続してください。

デジタル出力端子 (②)

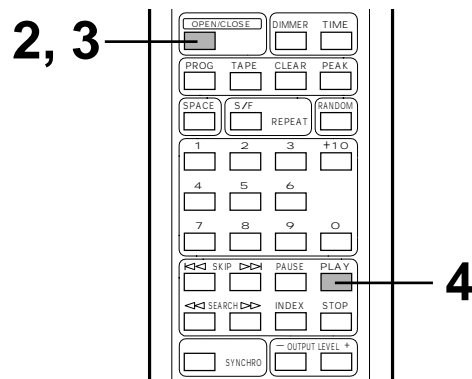
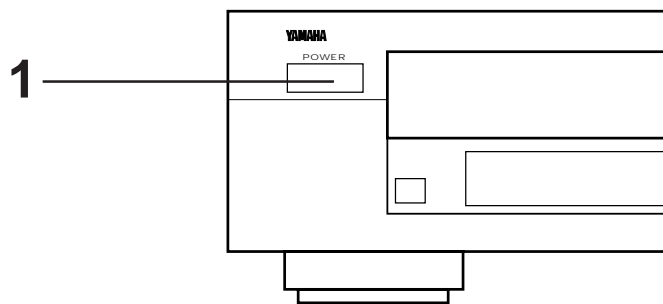
デジタル入力端子を装備した機器と接続するときは、本端子とアンプのCD (デジタル) 端子を接続します。

接続の際は、付属のピンプラグコードの片側、あるいは市販のピンプラグコードをご使用ください。

本端子を使用するときは、**OUTPUT LEVEL** を最大に設定してください。

基本的な演奏

本書はリモコンによる操作を中心に説明しています。
本体のフロントパネル上で操作する場合、対応するキーをご使用ください。



1 **POWER** を押し、電源を入れます。

POWER

2 **OPEN/CLOSE** を押してトレイを開け、ディスクをセットします。

レーベル面を上、溝の内側に置く。

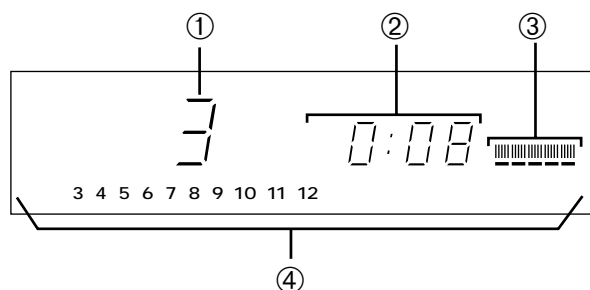
ディスクトレイ

3 **OPEN/CLOSE** を押します。
トレイが閉じます。

4 **PLAY** を押します。
ディスクの最初から演奏がはじまります。

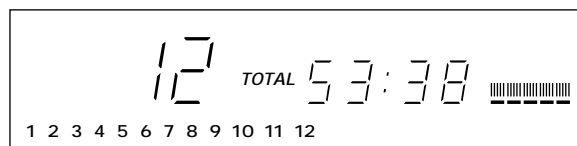
CDは従来のアナログレコ - ドやテ - プ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。

演奏中の表示について



- ① 演奏中の曲番を表示します。
- ② 演奏時間を表示します。
(詳しくは、P. 9『演奏時間表示の切り替え』を参照してください。)
- ③ LINE OUT 端子からの音声出力レベルの大きさやヘッドホンレベルの大きさを表示します。
- ④ ディスクに収録されている曲番を表示します。
収録曲が 20 曲を越えるディスクの場合、21 曲目以降は表示されません。
演奏を終えた曲番は順次消灯します。よって残りの曲番と曲数がひと目で確認できます。

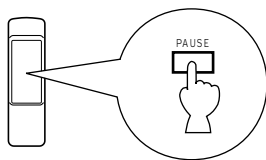
総演奏時間の表示について



OPEN/CLOSE を押してトレイを閉じたとき、ディスクの総曲数と総演奏時間を数秒間表示します。

PLAY、**+10**、**1** ~ **0**、**RANDOM** を押したとき、またはトレイを手で押して閉じたときは演奏が自動的に始まり、総曲数、総演奏時間は表示しません。

一時的に演奏を止めるには



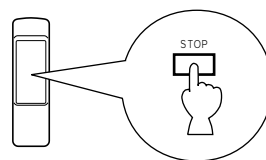
PAUSE を押します。

押したところで一時停止（ポーズ）になります。

再び演奏をはじめるとは PAUSE（もしくは PLAY）を押します。

本体の PLAY/PAUSE でも同じ操作が可能です。

演奏を停止するには

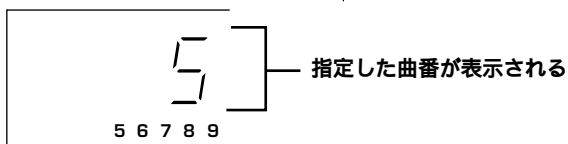
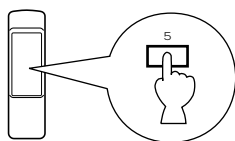


STOP を押します。

好きな曲を聞くには

ダイレクト演奏

数字キー +10、1 ~ 0 で曲番を指定します。指定した曲の演奏が自動的に始まります。



曲番10以上を指定するには

+10 を押して10の位を決め、次に1の位を 1 ~ 0 ボタンで指定します。

(例) 曲番12

+10 を押して
2 を押す。

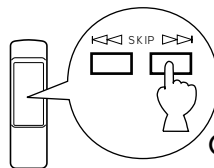
(例) 曲番24

+10 を2回押して
4 を押す。

ディスクに収録されている曲番より大きな曲番を指定すると、最後の曲を演奏します。

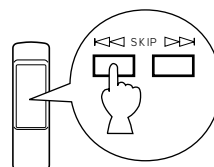
飛び越し選曲

今、演奏している曲より後の曲を聞くには



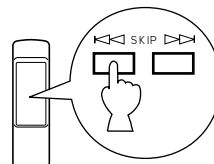
1回押す。
(押した回数だけ後の曲に飛び越します。)

今、演奏している曲の頭から聞くには



1回押す。

今、演奏している曲より前の曲を聞くには



2回続けて押す。
(押し続けると曲番1まで戻ります。)

飛び越し選曲は、ポーズ中や停止中にもできます。選曲が終わったら PLAY を押して演奏をはじめます。

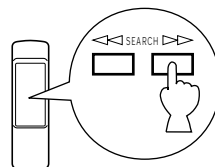
本体キーを使用する場合、押し続けると早送り、早戻し (SEARCH) になりますので、注意してください。

早送り、早戻しをするには

演奏中や一時停止中に、ディスクの内容を早送りまたは早戻ししながら聞きたいところをさがすことができます。

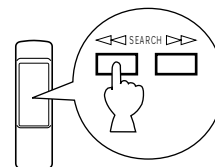
演奏中に操作すると音が小さく聞こえます。一時停止中に操作すると音は聞こえません。

早送り



押し続けている間、早送りします。

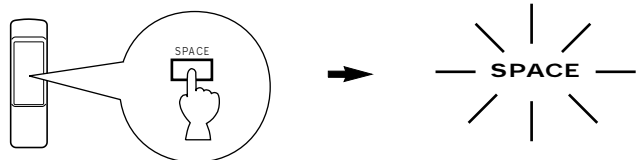
早戻し



押し続けている間、早戻しします。

オートスペースについて

曲間が十分でないディスクの場合、そのままテープに録音しても、テープ演奏時にうまく選曲ができないことがあります。そのような場合、あらかじめ、録音時に **[SPACE]** を押して各曲間に約 4 秒間のスペースを挿入しておく、デッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。



TOTAL TIME、TOTAL REMAIN TIME はスペース時間を加えた時間表示に変わります。

ディスクにもともと約 4 秒間の曲間がある場合や、テープの選曲再生をしない場合は、オートスペースを入れる必要はありません。

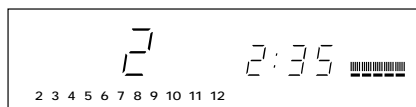
オートスペースの解除

もう1度、**[SPACE]** を押すと解除されます。

演奏時間表示の切り替え

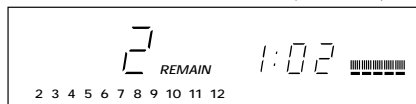
[TIME] を押すごとに次のように切り替わります。

現在演奏中の曲の経過時間 (“表示なし”)



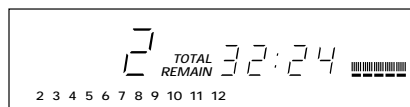
(2 曲目の頭から 2 分 35 秒経過)

現在演奏中の曲の残り時間 (REMAIN)



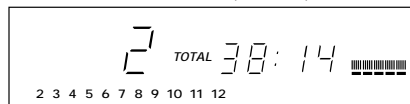
(2 曲目の終わりまであと 1 分 2 秒)

今、演奏しているところからディスクの最後まで残り演奏時間 (TOTAL REMAIN)



(ディスクの終わりまであと 3 分 24 秒)

ディスクの総演奏時間 (TOTAL)



(ディスクに入っている総演奏時間は 3 分 8 秒 14 秒)

曲番 25、もしくはそれを越える曲を演奏する場合、その曲の残り時間は表示されません。

ディスプレイの明るさの切り替え

[DIMMER] を押すごとにディスプレイの明るさが次のように切り替わります。

演奏中

普通の明るさ

薄暗い明るさ

消える

ディスプレイの照明が消えている間、フロントパネルの **AUTO DISPLAY OFF** インジケータが点灯します。

演奏中でないとき

普通の明るさ

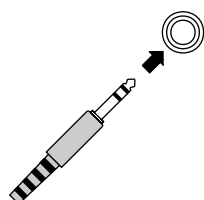
やや薄暗い明るさ

薄暗い明るさ

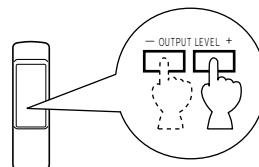
(**AUTO DISPLAY OFF** インジケータが点灯します。この状態の時にディスクが演奏されれば、ディスプレイの照明は消えます。)

ヘッドホンで聞く場合

PHONES



ヘッドホンを “PHONES” ジャックに接続します。



[OUTPUT LEVEL] で音量を調節します。

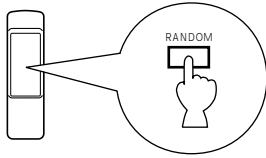
[+] を押し続けている間、音量が大きくなります。

[-] を押し続けている間、音量が小さくなります。

同時に、本機背面の **LINE OUT** 端子からの音声出力レベルも変わります。

曲を順不同に聞く（ランダム演奏）

RANDOM を押します。



ランダム演奏はプログラムを設定しているときや、プログラム演奏中
はできません。

ランダム演奏中に **SKIP >>** を押すと次に演奏される曲に移ります。

SKIP << を押すと演奏している曲の頭に戻ります。

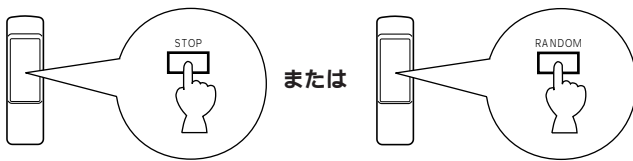
ランダム演奏中に電源を切り、その後タイマーセットなどにより再び
電源が入れば、ランダム演奏が自動的にはじまります。

ランダム演奏中には TOTAL REMAIN 時間は表示されません。

トラック（曲番）インジケータの表示が回転したのち、本機がディス
クの曲を順不同に演奏しはじめます。

ランダム演奏の解除

STOP または **RANDOM** を押します。また **OPEN/CLOSE** を
押してトレイを開けると解除されます。



繰り返し演奏する（リピート演奏）

REPEAT S/F を押します。

押すごとにリピート演奏モードが変わります。

シングルリピート

（ディスプレイに “ SINGLE REPEAT ” が点灯します。）

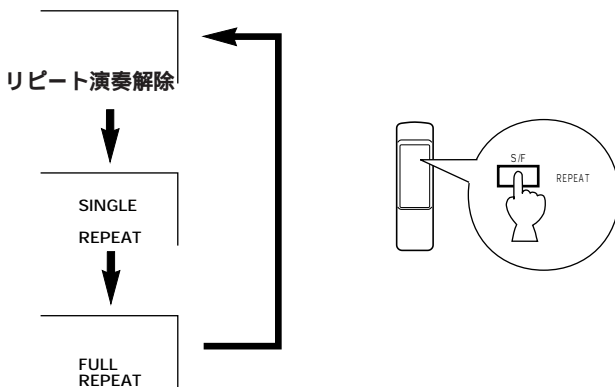
指定した 1 曲、または演奏中の曲を繰り返し演奏します。

フルリピート

（ディスプレイに “ FULL REPEAT ” が点灯します。）

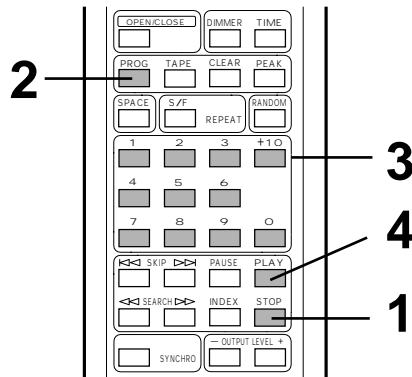
ディスクまたはプログラムをした曲の全曲を繰り返し演奏します。

ランダム演奏も同じ演奏順序でリピート演奏されます。



好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム演奏）

最大 25 曲までプログラムできます。



1 [STOP] を押して停止状態にします。

2 [PROG] を押します。

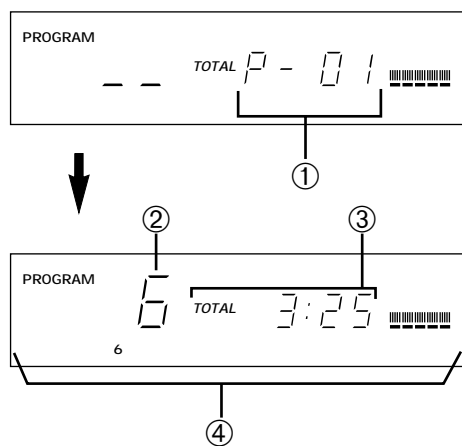
点滅します。

3 プログラムする曲を数字キー +10、1 ~ 0 で選びます。

この手順を繰り返して好きな曲をプログラムしてください。同じ曲を2度以上プログラムすることもできます。

4 [PLAY] を押すとプログラム演奏がはじまります。

プログラムしているときの表示



ご注意

プログラムした曲の飛び越し選曲するには：
 [SKIP]（<<または>>）を押します。プログラムした曲の中だけで飛び越し選曲し、プログラムしていない曲には移りません。
 早送り、早戻しについて：
 [SEARCH]（<<<または>>>）を押し続けるとプログラムしていない曲にも移ります。
 プログラム中に一時停止（ポーズ）を1回挿入することができます。プログラムの際、一時停止（ポーズ）を挿入したいところで、数字キーの代わりに[TAPE]を押します。
 このとき、ディスプレイに“O O B”が点灯します。
 [一時停止（ポーズ）が挿入されたことを表します。]
 曲番が25、もしくはそれを越える曲番をプログラムした場合、総演奏時間は表示されません。

- ① 何番目にプログラムされるかを表す
- ② プログラムした曲番
- ③ 今までプログラムした曲の総演奏時間
- ④ 今までプログラムしたすべての曲番

総演奏時間が100分を越えると下2ケタの数字しか表示されません。
 手順2において、[PROG]を押してもディスプレイに“P-01”が現れない場合は、[TIME]を1回押してください。

プログラム演奏を止めるには：

[STOP] を押します。ディスプレイには最初にプログラムした曲番が
出ます。演奏を再びはじめるには [PLAY] を押します。
プログラムの最初から演奏がはじまります。

プログラムを解除するには：

プログラム設定が終わったとき ([PLAY] を押す前)、または
停止状態のときに [CLEAR] または [STOP] を押します。
プログラムした内容はすべて消え、通常の演奏モードになります。
また、トレイを開けたり電源を切るとプログラムは解除されます。

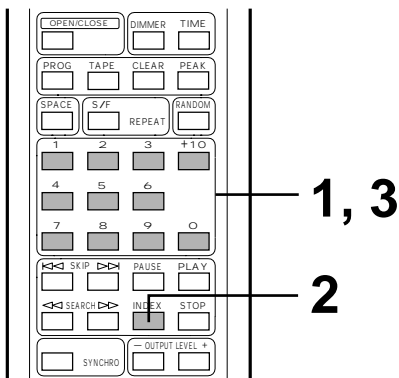
プログラムを確認する、または訂正するには：

この操作をするときは停止状態にしてください。

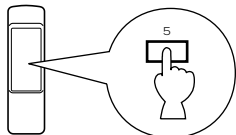
1. [PROG] を押します。
2. [SKIP] を押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラ
ムを確認できます。
プログラムを訂正するときは、[SKIP] (<<または>>)を押して訂
正したい曲番を表示させ、正しい曲番を数字キー [+10]、[1] ~
[0] で入力します。訂正前の曲番は消え、新しい曲番が表示されま
す。
3. [PROG] を押します。プログラムの訂正が完了しました。訂正後
すぐに演奏をはじめるときは [PROG] のかわりに [PLAY] を押します。

インデックス番号を指定して聞きたいところを演奏する (インデックスサーチ)

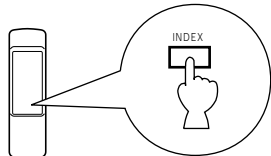
インデックス番号が記録されたディスクでは、インデックス番号を指定してそこから演奏をはじめることができます。



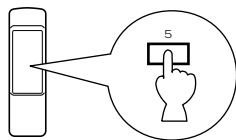
- 1 数字キー [+10]、[1] ~ [0] で曲を選びます。



- 2 [INDEX] を押します。“INDEX”が表示されます。



- 3 数字キー [+10]、[1] ~ [0] でインデックス番号を指定します。



インデックスについて

1つの曲をさらに小さな部分 (たとえばクラシック曲の楽章など) に
区切り、番号付けしたものがインデックスです。インデックスが記録さ
れているディスクには、解説書に (INDEX) マークがついています。

ディスクに記録されているインデックス番号より大きな番号を指定
すると、最後のインデックスから演奏がはじまります。

ディスクによってはインデックス番号の少し手前から演奏がはじま
ることがあります。

インデックスが記録されていないディスクでインデックス番号を指
定すると、選ばれている曲の頭から演奏がはじまります。

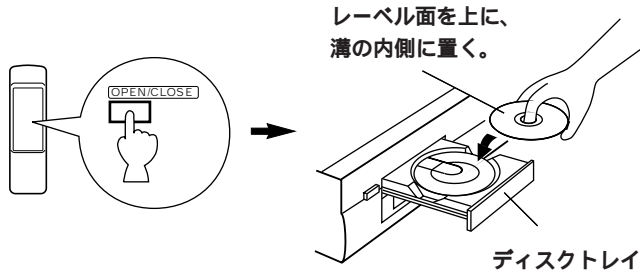
通常の演奏状態に戻すには、もう一度 [INDEX] を押します。
“INDEX” がディスプレイから消えます。

設定した時間に演奏を開始する（タイマ - 演奏）

市販のオ - ディオタイマ - と組み合わせることで、設定した時間にディスクの演奏を開始することができます。

1 本機とアンプの電源を入れます。

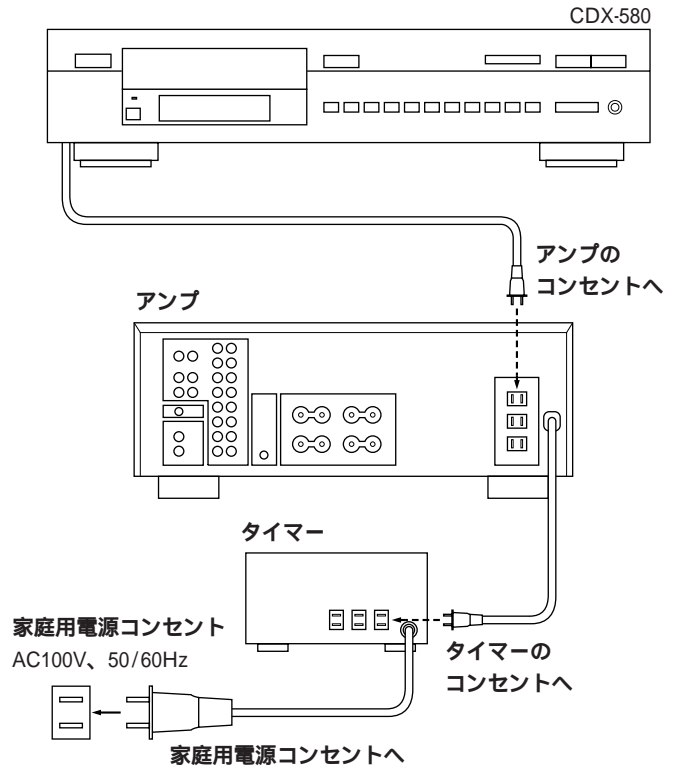
2 **OPEN/CLOSE** を押してトレイを開け、ディスクをセットします。



3 この時点で、タイマ - 演奏を開始する際の音量を、アンプで調節してください。
ランダム演奏、またはリピ - ト演奏の設定も可能です。

4 タイマ - の設定をします。
タイマーで演奏開始時間、終了時間を設定してください。
タイマ - の時間設定は、タイマ - の取扱説明書を参照してください。

以上の操作により、設定された時間になれば、演奏がはじまります。

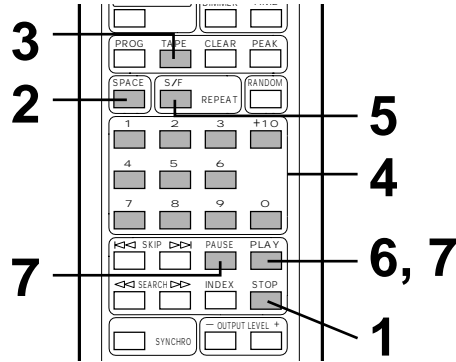


本機のプログラム機能を使ってテープ録音する (テーププログラム)

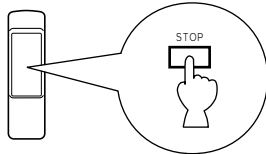
ディスクをテープに録音するときに便利なプログラム機能です。

テープの長さを本機にメモリーさせることにより、テープの余り時間を最少限に抑えてプログラムすることができます。

曲順を変えることなく、自動選曲録音したいときは
(オートテーププログラム)

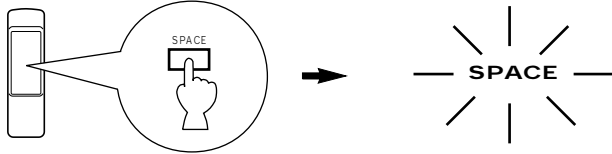


1 **STOP** を押して停止状態にします。

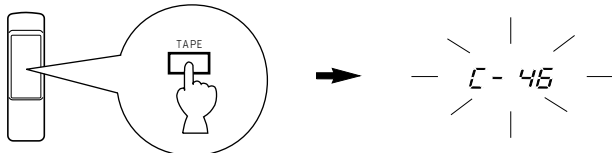


デッキ側で録音レベルの設定をする際、本機のピークサーチ機能を利用すると便利です。
(詳しくは、P.16『ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)』を参照してください。)

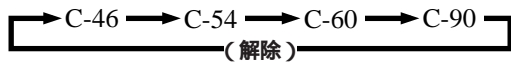
2 必要であれば **SPACE** を押します。
各曲間に約4秒間のスペースが挿入されます
(詳しくは、P.9『オートスペースについて』を参照してください。)



3 **TAPE** を押します。

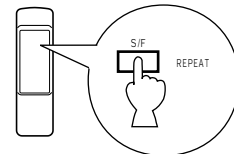


TAPE を押すごとに、テープの長さ(テープの時間)の表示が次のように変わります。使用するテープの長さと同じものを選んで下さい。



4 使用するテープの長さが手順3で選択できない場合、数字キーでテープの長さを入力します。
(例) C-64のカセットテープ(片面32分)の場合、まず手順3で **TAPE** を押した後、**6**、**4** を押します。
最大99分まで設定できます。
テープの長さを変更するときは続けて入力します。

5 **REPEAT** を押します。



本機がディスクの曲順を変えずにテープの長さに合わせてA面、B面にプログラム(最大24曲まで)します。

6 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、本機の **PLAY** を押します。
オートテーププログラム演奏がスタートします。

7 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。デッキを操作してテープのB面を録音状態にし、本機の **PLAY** を押します。
残りのプログラム演奏がスタートし、テープB面に録音が始まります。

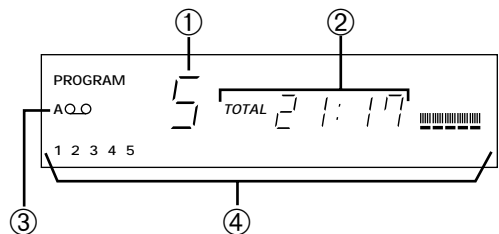
ご注意

使用するテープの時間がディスクの総演奏時間に対して余裕が少ないときは、録音できない曲がでることがあります。

(例) 総演奏時間が45分50秒に対し、カセットテープがC-46(片面23分)であっても録音できない曲のでることがあります。

全曲収録するためには、十分な時間のテープを使用してください。

手順5において **REPEAT** を押したのち、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。



① プログラムされた総曲数を A面、B面ごとに続けて表示した後、A面にプログラムされた最後の曲番を表示します。

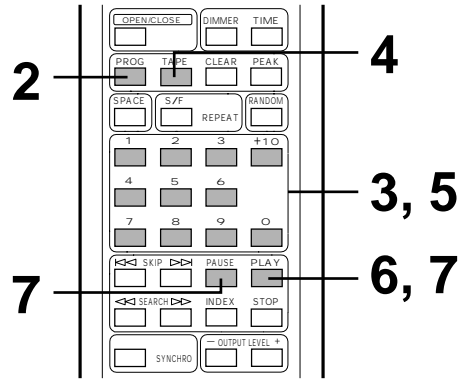
② プログラムされた曲の総演奏時間

③ A面または、B面を表します

④ プログラムされたすべての曲番

使用するデッキがシンクロ録音対応のものならば、手順6と7にてシンクロ録音が可能です。(詳しくは、P.17『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

曲順を変えてテープ録音したいときは (マニュアルテーププログラム)



1 P. 14 『オートテーププログラム』の手順 1, 2, 3, 4 と同じ操作をします。

2 **PROG** を押します。

点滅します。

3 テープA面に録音したい曲を好きな順に、数字キーで選びます。

曲番を押すごとにA面の残り時間が表示されます。入力済みの曲番は点灯、まだ入力されていない曲番で、テープ残り時間に対して入力可能な曲番が点滅します。また、テープ残り時間に対して入力できない曲番は消灯します。

4 **TAPE** を押します。
ポーズ状態が挿入され、テープB面に切り替わります。

5 テープB面に録音したい曲を好きな順に、数字キーで選びます。

6 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、本機の **PLAY** を押します。
テーププログラム演奏がスタートします。

7 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止 (ポーズ) 状態になります。デッキを操作してテープB面に録音ができるようにして、本機の **PLAY** を押します。テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタートします。

ご注意

テープ片面の残り時間を越える曲番を入力すると“Err”(エラー)表示をして受け付けません。残り時間内に収まる曲番を点滅している曲番の中より選んで再度入力します。

手順 3 と 5 にて、曲番を選ぶごとにその曲番とテープの残り時間が表示され、次のプログラムの入力待ちの表示“P-”に変わります。

使用するデッキがシンクロ録音対応のものならば、手順 6 と 7 にてシンクロ録音が可能です。

(詳しくは、P. 17 『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

テーププログラムについて

最大 25 曲 (P-01 から P-25)までプログラムすることができます。ただし、一時停止状態の挿入も 1 プログラムとして数えられます。(この場合、プログラムできる曲は実質 24 曲となります。)

プログラムできる曲番は最大 24 までです。25 曲以上入ったディスクの場合、曲番 25、もしくはそれを越える曲番はプログラムできません。

テーププログラムの解除

STOP を押します。

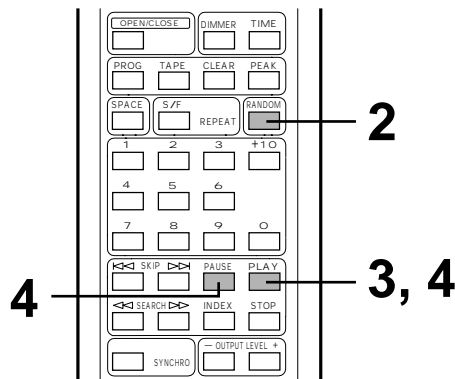
CLEAR を押します。

“PROGRAM” と “A ○ ○ B” が消灯します。

テーププログラムのチェック・変更・追加

(P. 12 『プログラムを確認する、または訂正するには:』を参照してください。)

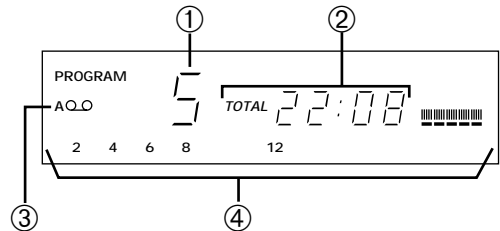
本機に順不同に自動選曲させて録音したいときは (ランダムテーププログラム)



ご注意

ランダムテーププログラムでは、使用するテープの長さがディスクの総演奏時間に対して余裕の少ないときは、ランダムを組み合わせにより収録できない曲がでることがあります。そのときは、**[TAPE]**と**[RANDOM]**を幾度か押して、全曲が収録される組み合わせにしてから録音を開始してください。また、テープの長さを変更するときは、**[TAPE]**を押してください。

手順2において**[RANDOM]**を押したのち、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。

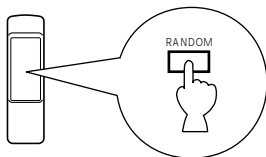


- ① プログラムされた総曲数をA面、B面ごとに続けて表示した後、A面にプログラムされた最初の曲番を表示します。
- ② プログラムされた曲の総演奏時間
- ③ A面または、B面かを表します
- ④ プログラムされたすべての曲番

使用するデッキがシンクロ録音対応のものならば、手順3と4にてシンクロ録音が可能です。(詳しくは、P.17『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

1 P.14『オートテーププログラム』の手順1,2,3,4と同じ操作をします。

2 **[RANDOM]**を押します。



自動的に本機がディスクの曲を順不同にして、テープの片面時間に収まる曲の組み合わせでA面、B面にプログラム(最大24曲まで)をおこないます。

3 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、本機の**[PLAY]**を押します。ランダムテーププログラム演奏がスタートします。

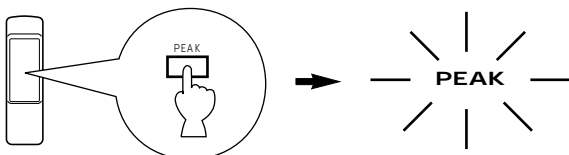
4 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機はB面演奏の曲番に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。デッキを操作してテープB面に録音ができるようにし、本機の**[PLAY]**を押します。テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタートします。

ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)

ディスク内の最大の音を自動的にさがし、繰り返し演奏します。
この機能はテープに録音する際、デッキの録音レベルを調整するのに役立ちます。

1 **[STOP]**を押して停止状態にします。

2 **[PEAK]**を押します。



本機がディスクのピークレベルを自動的にさがします。サーチ終了後、その部分を繰り返し(リピート)演奏します。この演奏をもとに、デッキ側で録音レベルを調整します。

ピークレベルサーチを解除するには**[STOP]**を押します。

ご注意

同じディスクでピークレベルサーチを2回以上おこなった場合、同じ部分が選ばれないことがあります。これは内蔵のマイクロコンピュータが、そのつどランダムに何ヶ所かのポイントを選び出し、その中で音量レベルの比較をおこなうためです。

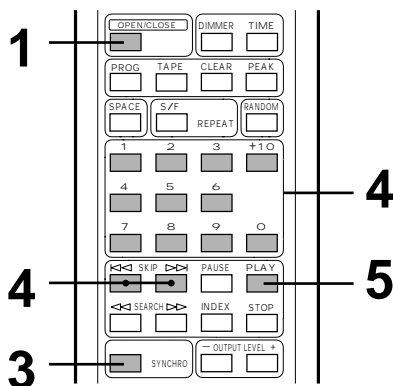
ピークレベルサーチはプログラムが設定された状態でも可能です。その場合、プログラムされた曲の範囲内でサーチがおこなわれます。

本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる (シンクロ録音)

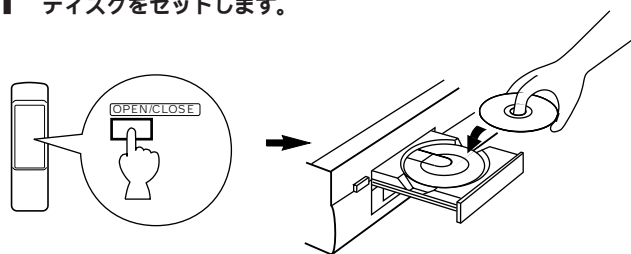
この機能により、テープ録音が簡単かつ正確におこなえます。

シンクロ録音には、シンクロ録音対応のヤマハテープデッキが必要です。(使用するデッキがシンクロ録音対応かどうかは、デッキの取扱説明書を参照してください。)

シンクロ録音では、本機に付属のリモコンからの信号を、本機とデッキが同時に受信する必要があります。そのため本機とデッキは必ず近づけて設置して下さい。



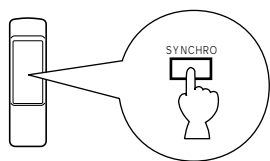
1 ディスクをセットします。



2 デッキにテープをセットします。

テープの端から録音する場合には、テープは完全に巻き戻した状態にしてください。
本機のピークレベルサーチ機能は、デッキの録音レベルを調整するのに便利です。(詳しくは、P.16『ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)』を参照してください。)

3 SYNCHRO を押します。

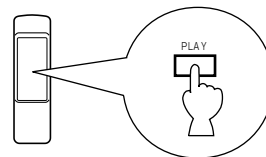


本機がPAUSE状態になりデッキはREC/PAUSE状態になります。
ディスプレイのタイムインジケーターが点滅します。

4 必要であれば、あらかじめ希望する曲を選曲しておきます。



5 PLAY を押します。



ディスクの演奏とテープ録音が始まります。

ディスクの演奏より少し先に録音が始まります。

ご注意

録音を終了、または停止させるには、テープデッキ側で適切な操作をしてください。

プログラムされた曲を録音する場合にも、シンクロ録音が使えます。(プログラムの手順はP.11~12を参照してください。)

この機能はテーププログラム機能と合わせて使用できます。

(テーププログラムの方法はP.14~16を参照してください。)

ディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。



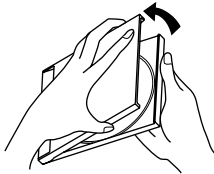
マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

規格外のディスクはご使用にならないでください。

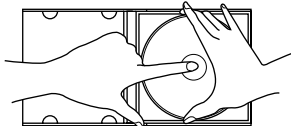
規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

ケースからの取り出しかた

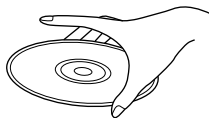
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。



3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。

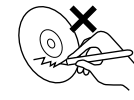


取り扱いの注意

信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほこりや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。多少のほこりや汚れは、音には影響ありません。



レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンで文字を書かないでください。



曲げたりしないでください。



信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



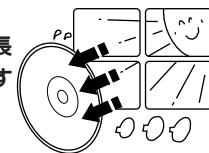
演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。

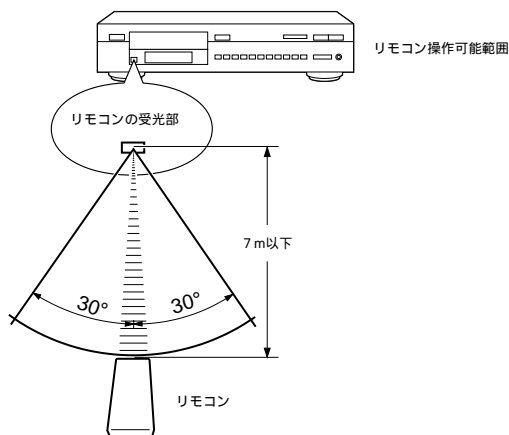


直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形する原因となりますので置かないでください。



リモコンについて

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光部の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。



付属のリモコンは...

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作を起こすことがあります。リモコンによって誤動作をする機器があるときは、その機器の受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください

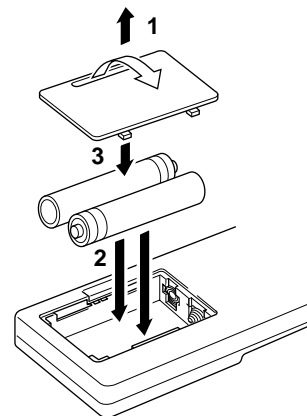
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

電池交換のしかた

1. リモコンの裏のふたをはずします。
2. 単3型(SUM-3)乾電池を2個、プラス(+)とマイナス(-)の向きを、リモコンのケースの表示どおりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- ・ 単3乾電池をご使用ください。
- ・ 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- ・ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- ・ 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・ 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上に入れてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
	LINE OUT 端子を使って接続している	OUTPUT LEVELで音量を調節してください
音飛びがする	本機が振動やショックを受けている	設置場所を変えてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
ヘッドホンから音が出ない	OUTPUT LEVEL が絞られている	OUTPUT LEVEL で音量を調節してください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を2本とも交換してください
	リモコンユニットが受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください
	受光部に強い日光や照明（インバータ蛍光灯など）が当たっている	受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置をくふうしてください

参考仕様

形式	コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム	
オーディオ特性		
周波数特性	2Hz ~ 20kHz ± 0.5dB	
ディエンファシス偏差	± 0.5dB	
高調波歪率 (1kHz)	0.0025%	
S/N比	115dB (EIAJ)	
ダイナミックレンジ	98dB以上	
ワウ・フラッター	測定検知限以下	
出力電圧	0-2V可変	
ヘッドホン出力電圧 (150Ω負荷、-20dB)	200mV ± 40mV	

総合	
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
外形寸法 (W×H×D)	435 × 96 × 270mm
重量	3.8kg
付属品	出力コード リモコンユニット 単3乾電池 (SUM-3) × 2

仕様及び外観は改良のため変更をすることがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証の期間は

お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テーブルデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

修理料金の仕組み

技術料

故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材費等を含む場合もあります。

出張費

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 〒064 Tel(011)513-5036
仙台	仙台市若林区卸町5-7 〒983 仙台卸商共同配送センター3F Tel(022)236-0249
新潟	新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F 〒950 Tel(025)243-4321
首都圏	川崎市中原区木月1184 〒211 Tel(044)434-3100
東京	(お持ち込み修理のみ取扱い) 東京都港区高輪2-17-11 〒108 Tel(03)5488-6625
浜松	浜松市上西町911ヤマハ(株)宮竹工場内 〒435 Tel(053)465-6711
名古屋	名古屋市中川区玉川町2-1-2 〒454 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F Tel(052)652-2230
大阪	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 〒565 Tel(06)877-5262
広島	広島市安佐南区西原6-14-14 〒731-01 Tel(082)874-3787
四国	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 〒760 Tel(0878)22-3045
九州	福岡市博多区博多駅前2-11-4 〒812 Tel(092)472-2134

お客様ご相談センター

(ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口)

TEL (03)5488-5500

〒108 東京都港区高輪2丁目17-11

愛情点検



長年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に動作しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部

Tel(053)460-3451

品質保証室

Tel(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA